

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価 計画

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名	唐津市立巻木学校
1 前年度 評価結果の概要	<p>〇4月の6年生全学年学力・学習状況調査と5年生の算数・算理調査はどの教科も昨年より10ポイント以上向上することができ、記述力の向上が見られる。しかし、12月の調査では4、5、6年生全教科とも昨年より向上はしているが、教科の別動向も異なっており、教科の別動向も異なっており、教科の別動向も異なっている。また、今年度も全教員が研究発表を実施し、研修活動による研鑽研究を推進したことで、履修力や汎用的能力の育成において成果を上げることが出来た。本年度は教育課程の研究指定であり、学力向上のためのカリキュラム作りを行い、汎用的能力の育成に力を入れて取り組んでいく。そして、次期学習指導要領に対応し、目指す児童像の実現に向けた学校作りを進めていく。</p> <p>〇中学生学習態度アンケートでは8の重点項目のうち10項目で7月調査より評価が上がった。特に「学習意欲の向上」「学習態度の向上」「学習態度の向上」の3項目で評価が上がった。また、「勉強への積極的な取り組み」についても評価が高かった。また、「勉強への積極的な取り組み」についても評価が高かった。また、「勉強への積極的な取り組み」についても評価が高かった。また、「勉強への積極的な取り組み」についても評価が高かった。</p>

2 学校教育目標	<p>◇◇◇保護者や地域の共に創る「一人一人の笑顔が輝く」巻木小◇◇◇</p> <p>自ら気づき、考えて、動く子どもの育成</p>
----------	--

3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・主体性の深化と発展を目指したカリキュラムマネジメント ・地域人材の積極的な活用と、体験活動・表現活動の充実 ・組織力を生かした業務の改善と、時間外勤務時間の縮減
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1)共通評価項目	重点取組		具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
	評価項目	取組内容		成果指標 (数値目標)	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	●教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。							
●心の教育	●主体的・対話的で深い学びの継続と展開	○学校は、児童が主体的に考え、グループやクラスで話し合うことで、自分の考えを広げたり深めたりする授業に取り組んでいると思う保護者85%以上	・主体的に学べるような課題設定や単元を構成する。児童自身が学びをメタ認知できるような振り返りの場を設定し、よりアクションプランに沿った授業展開にできるようにする。							
	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「あいさつ十ヶ条」「ほかほか言葉」を推進し、児童の豊かな心づくりに取り組んでいると思う保護者85%以上	・児童の思いを高め、学校行事や集会活動を主体的に企画、運営する。 ・「あいさつ十ヶ条」、ほかほか言葉の推進を図る。							
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○道徳の授業やアンケートを効果的に活用しながらいじめの早期発見・早期対応、いじめを生まない集団づくりに取り組んでいると思う保護者85%以上	・いじめの早期発見のため1回のみいじめアンケートを実施する。 ・いじめを生まない集団づくりのため、道徳や学級活動を中心とした授業の充実を図る。							
●健康・体づくり	②「望ましい生活習慣の形成」 ④「安全に関する資質・能力の育成」	②学校は「早寝・早起き・朝ご飯」を呼びかけたり、生活を振り返る場を設定することで、よりよい生活習慣づくりに取り組んでいると思う保護者85%以上 ④児童生徒の交通事故を0（ゼロ）にする	・「早寝・早起き・朝ご飯」の徹底を図るために、元氣チェックによる振り返りをする。 ・交通安全教室や避難訓練を通して、「自分の命は自分で守る」という危機管理意識の向上を図る。							
	○日常的に健康・体づくりに取り組む力の育成	○学校は、外遊びや、体育学習、環境を工夫することで、自ら運動しようとする態度づくりに取り組んでいると思う保護者85%以上	・運動検定カード(泳・泳・なわとび・持久走)を作成し、活用を推進する。							
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・教材の共有や校務の情報化を図る。 ・業務のマネジメントや協力・連携体制の推進を図る。							

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目	重点取組		具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
	評価項目	重点取組内容		成果指標 (数値目標)	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	
○主体性の深化と発展を目指したカリキュラムマネジメント	○「学び」「心」「体」3部の連携を軸とした教育課程の見直しと改善	○教育課程研究部会の開催、年間5回以上	・管理職、指導教諭(教務)、3部長で組織する教育課程研究部によるカリキュラムマネジメントの推進							
◎志を高める教育	◎地域と連携を図りながら郷土を誇りに思う児童の健全育成	◎地域の「い・も」の活用した体験型学習 全学年年間3回以上	・巻木町教育フェスタを活用した体験活動の場を設定する。 ・地域の方と学んだことを発信するとともに、学ばよさを実感し、感謝の気持ちを伝える場として「地域ありがとう集会」を実施する。							

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
----------------	---